

原木安定供給に向けた 木材生産・流通協議会

(愛知県北設楽郡)

愛知県 農林水産部

農林基盤局 林務課 主任主査 村田 典之

事業の目的及び目標

- 航空レーザ計測により詳細な森林資源情報や地形情報を取得し、これらの情報等を基に、
 - ①施業集約化の促進、
 - ②路網設計ソフトを活用した路網設計の効率化、
 - ③タブレット端末を活用した作業現場との情報共有による現場作業の効率化を図るとともに、川上と川下の需給情報のマッチングに向けたプラットフォームを立ち上げることにより、「林業のスマート化」を実現し、県全体に波及させる。

■ 数値目標

- 平成32年度の木材生産量180千 m^3 （平成28年度141千 m^3 ）

協議会メンバー

■ 市町村

- ・北設楽郡3町村（設楽町、東栄町、豊根村） 林務関係課長

■ 林業関係

- ・愛知県森林組合連合会 専務理事

（北設楽郡内の3森林組合もオブザーバーとして参画）

■ 県

- ・県庁（林務関係課長）
- ・新城設楽農林水産事務所 課長



協議会の開催

平成30年度の取組内容 ①

ICTに関わる個々のプレイヤーの具体的な行動計画を作成

(取組)	(関係主体)	<中期>					<長期>				
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
間伐地選定のソフト開発の検討	県	開発ソフトの仕様等検討、実証事業企画 協力事業者の選定	ソフト開発 航空レーザ測量	開発したソフトの実証事業	「森林情報GIS・DB」への実装						
「森林情報GIS・DB」を活用した間伐事業地の選定	森林所有者・管理者 素材生産業者				計画立案への活用（間伐地候補の選定、出材量、収支の予測等）						
UAVの導入	森林所有者・管理者 素材生産業者 (県)	UAVの操縦の人材育成	UAVの導入								
「UAV航空写真」の活用	県				UAV航空写真による計測方法の検証、検査業務への導入促進						
間伐候補地の自動選定	森林所有者・管理者										「森林情報GIS・DB」を活用した間伐事業地の選定・間伐計画作成の仕組みづくり



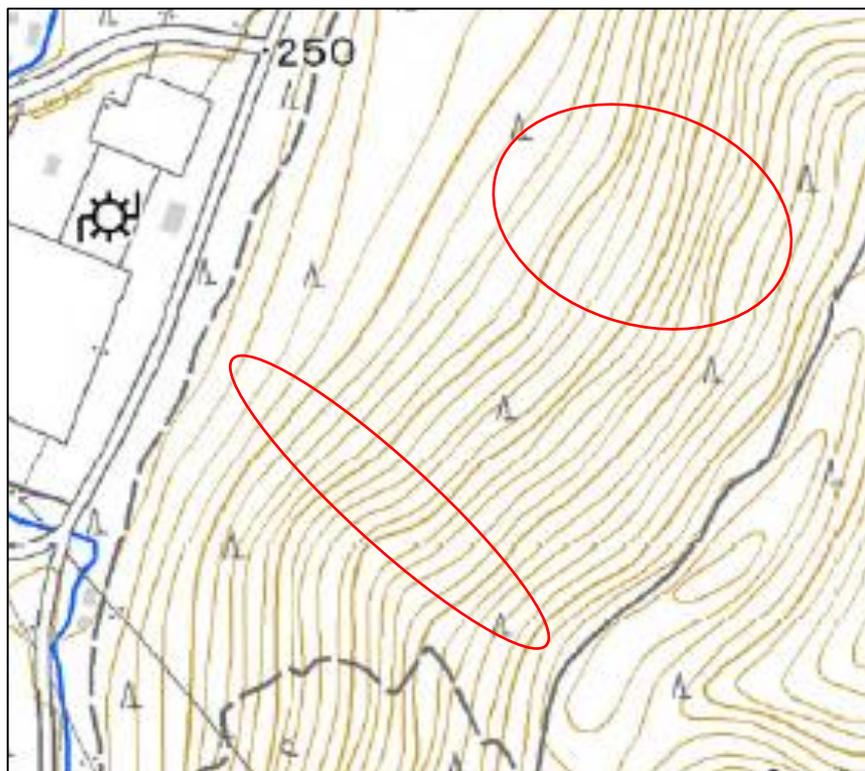
委員会の開催

行動計画のイメージ(間伐事業地の選定)

平成30年度の取組内容 ②

■ 航空レーザ計測による詳細な森林情報の取得(地形情報)

現在使用している森林基本図



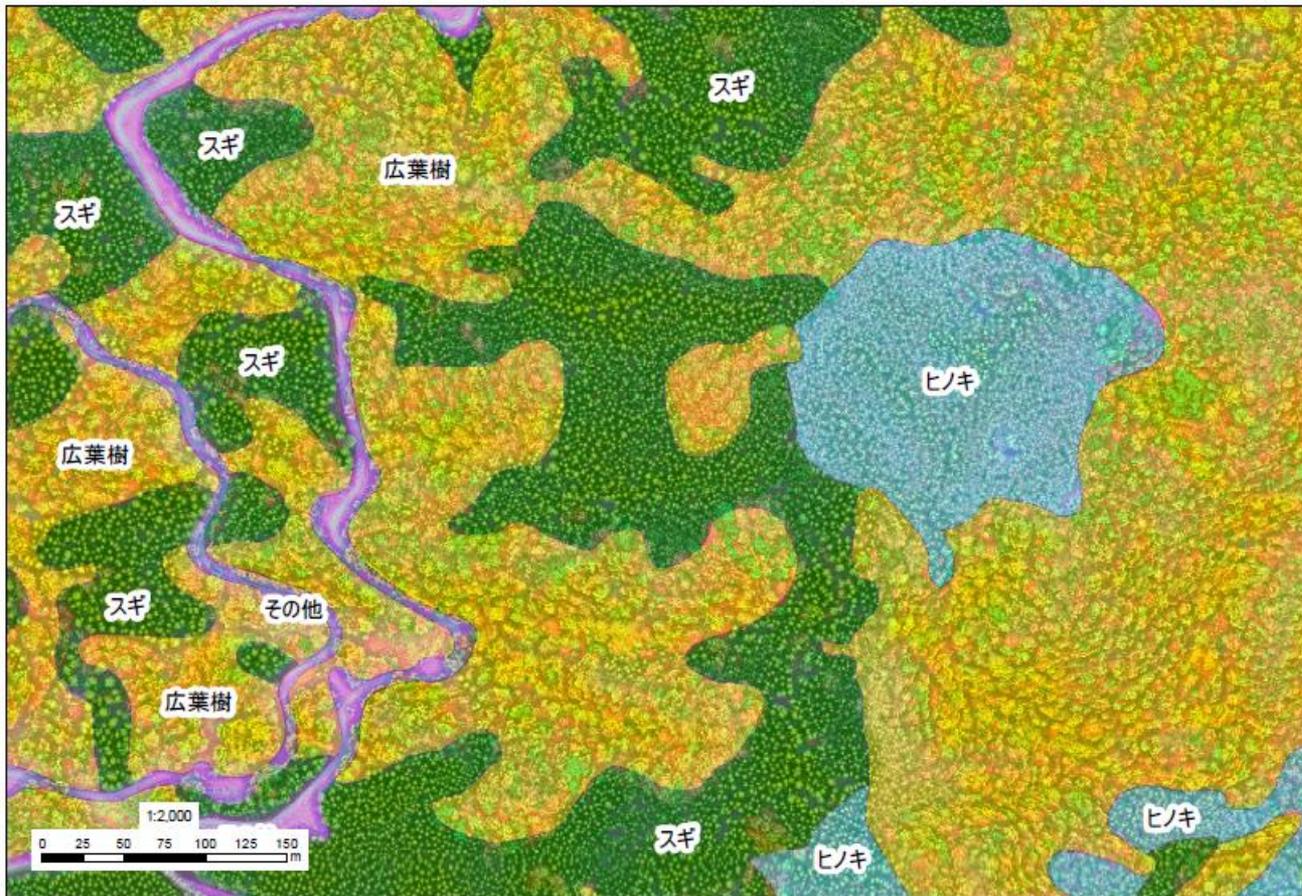
レーザ計測に基づく地形図



線状の崩壊跡地が明瞭に

平成30年度の取組内容 ②

- 航空レーザ計測による詳細な森林情報の取得(資源情報)



レーザ林相図

平成30年度の取組内容 ③

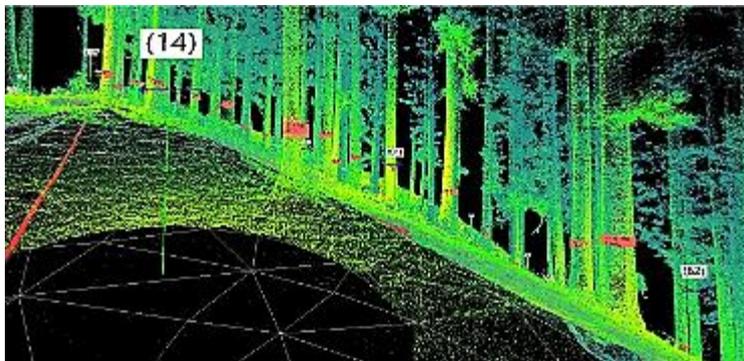
■ 林業現場のICT化に向けた取組



地上レーザ計測研修



先進事例調査



ドローンを活用した
森林調査研修

目指す地域の林業の姿

